

第56回合同写真展実施要項（改訂版）

1 目 的

写真部活動の日頃の成果を披露するとともに、県内他校の展示を鑑賞することによって写真表現の多様性を学ぶ。

2 会 期

令和5年9月5日（火）～10日（日） ※展示及び審査は9月4日（月）に実施。

3 場 所

千葉県立美術館 展示：第5展示室 表彰式：講堂

4 日 程

9月4日（月）

- 10：00～10：30 搬入受付
- 10：00～11：00 作品展示作業
- 11：00～11：30 役員による展示確認
- 11：30～12：00 諸連絡ならびに各校代表生徒による審査
※参加校はここで退館。
- 12：30～15：30 審査員による審査
- 15：30～17：00 最終確認

9月5日（火）～10日（日）

- 9：30～12：45 受付（午前の部）
- 12：45～16：30 受付（午後の部）

9月10日（日）

- 14：30～14：50 入賞校受付
- 15：00～15：30 表彰式
- 15：00～16：00 入賞校以外の参加校最終日受付
- 16：35 ～ 作品搬出

5 出品部門

課題部門（今回のテーマは「光」）と自由部門の2つを設ける。

6 賞および審査

（1）賞について

〔個人賞〕金賞、銀賞、銅賞、奨励賞、千葉県写真連盟会長賞、千葉県写真美術会長賞、
千葉読売写真クラブ賞、審査委員長賞
人気ナンバーワン賞

※金賞のみ課題部門および自由部門からそれぞれ1点ずつ選出する。

〔団体賞〕最優秀校賞

（2）審査について

審査は日本大学芸術学部写真学科教授および写真家に全て一任して行う。ただし、人気ナンバーワン賞については各校代表生徒の審査によって選出する。

（3）その他

- ①人気ナンバーワン賞を除く各賞受賞作品は、関東地区高等学校写真展千葉県代表作品として内定する。
- ②受賞作品以外の特に優れた作品についても、関東地区高等学校写真展千葉県代表作品として内定する場合がある。

7 出品点数

1部門当たり1人1点、合計2点まで出展できるものとする。ただし、出品総数が8点以内の学校については特に制限は設けない。

8 出品規格

- (1) 単写真または組写真とする。
- (2) 単写真の用紙の大きさはA4～A3ノビ、または、四切～半切とする。
- (3) 組写真については、枚数構成および写真1枚あたりの大きさは自由とするが、全体をA4～全紙の1枚の中に収めること。
- (4) 作品は原則として木製パネル貼りまたはマットパネル貼りとする。やむを得ず額装とする場合はガラスを取り外すこと。なお、作品の審査はパネルの出来栄を含めて総合的に行うので丁寧に仕上げること。
- (5) 過度の加工は不可とする。
※デジタル作品ではトリミング、明るさや彩度、コントラストや色調の調整は認めるが、多重露光以外の手法による合成や、画面上の不要なものの削除などカメラ内の機能では一般的にできない処理は認めない。
- (6) 他のコンテストで入賞・入選した作品の出品は認めない。

9 参加費

1校当たり 2,000 円とする。

10 参加申込

写真専門部会のホームページ、あるいは顧問の登録したメールアドレス宛に送られた参加申し込みフォームを用いて6月19日（月）から6月30日（金）までの間に参加申し込みを行うこと。なお「出展人数」はあくまで合同写真展に出展する人数であり、部員総数ではない。部員の出展に関する意志確認を事前に十分行い、申し込み時の「出展人数」と実際の「出展人数」が大きく違わないよう留意すること。

事務局が申し込みフォームを受信した際には、申し込み完了通知のメールを送信するので確認すること。また、今年度の参加を見合わせる場合は、不参加の回答を必ず行うこと。

写真専門部会ホームページ <https://www.photo-chiba-hs.jp/>



11 目録提出および課題テーマの投票

- (1) 顧問の登録したメールアドレス宛に送られたエクセルシートおよびフォームに、8月21日（月）から8月30日（水）までの間に必要事項を入力、送信すること。
- (2) 各校が入力した目録は、印刷のうえ9月4日（月）の搬入受付時に提出すること。その際、入力後に生じた訂正・変更については、朱書き加筆をしておくこと。

12 展示スペース

作品は学校毎に展示する。なお、展示スペースの割り振りは8月9日（水）正午までに写真専門部会ホームページ上で発表する。

13 搬入受付

目録および参加費を提出すること。

14 会期中の受付

会期中の一般来場者に対する受付を、参加校で分担して行う。分担の割り振りについては、参加申込の際に回答した各校の要望等を踏まえ、7月18日（火）正午までに専門部会ホームページ上で発表する。

15 表彰

表彰式を講堂にて行うが、入室できるのは受賞した学校の部員、顧問ならびに保護者のみとする。また、入選の賞状は参加校最終日受付の際に、学校毎にまとめて授与する。

16 最終日の提出物

最終日受付の際、次の物を提出すること。なお、いずれも返却はしない。

- (1) 入賞・入選作品のデータ
CDまたはDVDに記録して提出すること。ファイル名は「画題_学校名_氏名」とし、記録したメディアには学校名を記入すること。
- (2) 入賞・入選作品のL版プリント
裏面に画題、学校名、学年、氏名を天地を合わせて記入すること。

17 作品の搬出

作品搬出用の段ボールや紙袋等は、最終日の16時35分以前に美術館玄関ホールよりも展示室側に持ち込むことは固く禁じられている。それまでは一般来場者の往来の邪魔にならないよう、講堂前のホールで待機すること。

令和5年5月22日

第 56 回合同写真展実施細目

1 出品規格

(1) 写真について

- ①公序良俗に反しないものとする。また、肖像権に触れないよう権利者に事前に許可を得る等十分留意すること。
- ②1つの写真を作品とする単写真、または、複数の写真を組み合わせて1つの作品とする組写真のいずれかとする。
- ③単写真の場合、インクジェットプリンターによる印刷で一般的に用いられるA4～A3ノビの大きさ、または、旧来からの写真用紙の規格である四切～半切の大きさとする。

(2) パネルについて

作品は原則として木製パネル貼りまたはマットパネル貼りとする。木製パネルの作製方法については、写真専門部会のホームページを参照すること。また、マットパネルについては既製品を購入のうえ、印刷した写真を説明書に従ってそれに貼るのが一般的であるが、材料を購入して自作する場合は両面テープを多めに使って粘着性を十分確保し展示中の脱落防止に努めること。

やむを得ず額装で出展する場合はガラス等を取り外し、写真が露出するようにすること。同様にスチレンボード等に写真を貼って出展する場合は厚さが7mm以上とし、厚さ7mm未満のスチレンボードやプラスチック製の段ボールなどを用いた作品は出展を認めないか、あるいは審査の対象から除外する。

(3) キャプションについて

- ①キャプションには画題、高校名、学年、氏名をそれぞれ記入する。また、部門の種別、デジタル・銀塩の種別、出品規格の種別をそれぞれ選択するが、銀塩とはデジタルカメラが登場する以前からある、フィルムを使って撮影する写真を示す。さらに、受付番号は展示スペース発表の際に公表されたものを記入し、作品No.は目録の番号を記入すること。
- ②キャプションの提示位置は作品パネルの外側下部、あるいは作品パネルの内側下部とするが、いずれの場合もパネルに必ず固定すること。
- ③パネルの外側下部に提示する場合、コピー用紙等の薄い紙を用いると折れやしわが付きやすく見苦しくなりやすいため、ケント紙や画用紙等の厚手の紙を用いるか、作品の搬送方法を工夫するなどの対策を講じること。
- ④パネルの内側下部に提示する場合、キャプション上部にあるのりしろ等を切除したうえでパネルに貼付すること。

(4) その他

作品の審査は以上の点を総合的に観て行うので、丁寧に仕上げること。

2 展 示

(1) 各校の展示スペースについて

申し込み時の出展人数に応じて、展示スペースの面積を変えて割り振る。

(2) 展示方法について

- ①各校が割り振られた展示スペースは遵守すること。
- ②出展校数および出展人数ともに毎年増加している。そのため、1人当たり2点出展したり、大きなパネルで出展する場合は、展示レイアウトを事前に十分検討しておくこと。
- ③展示用のフックは会場で用意するが、各校所有の物があれば持ち込み使用を推奨する。

3 会期中の受付

(1) 午前の部（9：00～12：45）と午後の部（12：45～16：30）に分け、いずれかの日の半日をそれぞれ2校で担当する。

(2) 受付には2人の生徒あるいは顧問が常駐して次の業務を行うこと。ただし、途中で交代しながら行っても構わない。

①来場者数をカウントし、無理のない範囲で芳名簿の記入およびアンケートの回答に必要なQRコードの読み取りを促す。ただし、スマートフォンでのアンケート回答が難しい来場者には、アンケート用紙での回答を促す。

②午後の担当校は当日の来場者数を芳名簿に記入し、「健康防止対策チェック表」を美術館担当職員に提出して退館する。

(3) 受付に割り当てられた日はできるだけ多くの部員で来場し、作品鑑賞や美術館周辺での撮影などの研修活動を行うことを推奨する。

(4) 受付担当校1校当たり2人分の交通費を支給する。

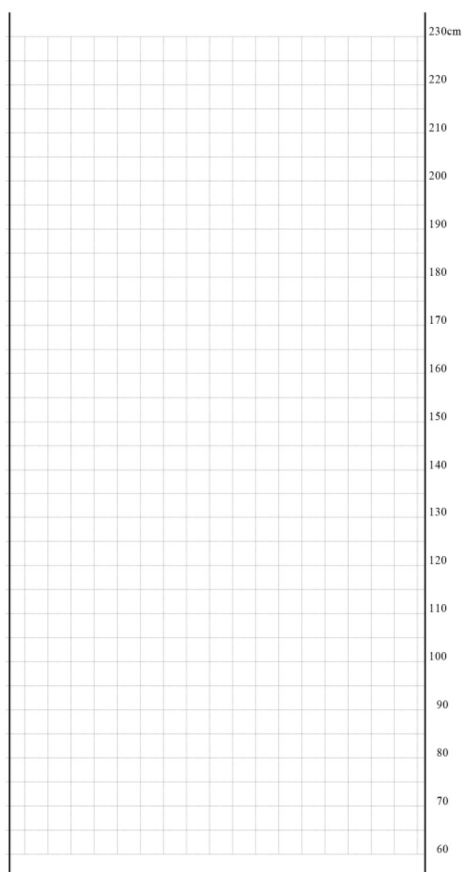


図1は幅90cmの1枚サイズ。

縦線と横線の交点にフックを刺す穴がある。

穴の間隔は5cm。

床付近からかなり高いところまでの範囲に穴があるが、鑑賞面を考慮すると、床からの高さが80cm以上220cm以下程度の範囲に作品を収めるのが無難。

図1 県立美術館展示パネル（壁面側A Bブロック）

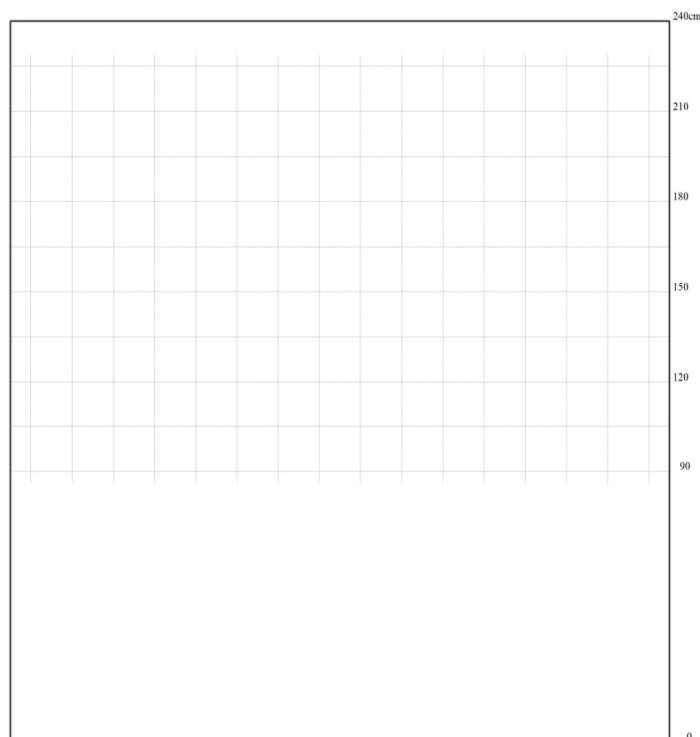


図2は幅240cmの基本サイズで、コの字型の衝立1辺の半分に対応する。

縦線と横線の交点にフックを刺す穴がある。

穴の間隔は15cm。

床からの高さが90cm以上225cm以下の範囲に穴がある。

図2 県立美術館展示パネル（衝立側C Dブロック）

※図はあくまで目安であり、正確なところは美術館で確かめることを推奨する。